

教 区 報

# 山 口

発行／「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会  
編集／広報部

No. 211

2018(平成30)年  
10月

## CONTENTS

- 平成30年7月豪雨
- 臨時教区会
- 山口教区「御同朋の社会をめざす運動」  
(実践運動) 研修会
- 公聴会
- 第20回仏教讃歌のつどい(記念大会)
- 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
- 教区ニュース
- 各種行事案内
- 別院・教区行事予定

平成30年7月豪雨においてお亡くなりになられた方に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。



# 平成30年7月豪雨

平成三十年七月豪雨により被災された皆様に衷心よりお見舞い申しあげます。

このたびの豪雨によっていのちを失われた皆様、さらにはご遺族の皆様へ、心から哀悼の意を表します。また、被災され避難生活を余儀なくされる方、ご縁の方の安否を気遣い、不安の中におられる方の心情をお察し申しあげますとともに、安否が定かでない方々が一刻も早く救出されますことを願っております。

宗門では、災害直後から支援物資の運搬及び義援金の受付を開始いたしました。さらに「平成三十年七月豪雨緊急災害対策本部」を中央に設置するとともに、備後教区教務所、安芸教区教務所に「現地緊急災害対策本部」を設置し、被害状況の把握に努め、物心両面にわたる支援をいたしております。

先行きの見えない不安を抱えながらの生活は、想像を超えた厳しいものであることと存じます。被災地等におきまして救援や復興支援などの活動にご尽力されておられる方々に深く敬意を表しますとともに、皆様の安

全と一日も早い復興を願い、宗門として全力で支援してまいりますと思っております。

また、六月十八日に発生いたしました大阪府北部を震源とする地震につきましても、義援金の受付を行っておりますので、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

二〇一八(平成三十)年七月十三日

浄土真宗本願寺派  
総長 石上智康



## 平成30年7月豪雨 義援金・見舞金御礼

このたびの平成30年7月豪雨に際して、各方面より心あたたまる義援金やお見舞金を山口教区にてお預かりしております。紙面に掲載し、厚く御礼申し上げます。なお、お寄せいただいた義援金・見舞金は、教区内被災寺院並びに宗派たすけあい運動募金へお届けさせていただきます。

**義援金総額 1,213,772円**

ご協力いただいた団体《50音順》

- ・岩国北組 仏教婦人会
- ・大阪教区サンガ基金運用委員会
- ・大津東組
- ・大津西組
- ・岐阜教区 岐厚組 西勝寺
- ・下松組 門徒総代会
- ・熊毛組 西福寺 東光仏教婦人会
- ・熊毛中組 正信寺
- ・熊本教区教務所
- ・コール芬陀利華
- ・佐山保育園
- ・周南組 西光寺
- ・豊浦西組 報恩寺
- ・華松組 三光寺
- ・美祢西組 生蓮寺 仏教婦人会
- ・山口みのり会
- ・山口南組 正法寺 仏教婦人会
- ・山口南組 教證寺

## 浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金 「平成30年7月豪雨」災害義援金

郵便振替 01000-4-69957

加入者名 たすけあい募金

銀行振込

銀行 ゆうちよ銀行  
店名 一〇九(イチゼロキュウ)店  
番号 当座 0069957  
名義 たすけあい募金

※通信欄に「平成30年7月豪雨」とご記入ください。



床上浸水／玖珂西組 法性寺



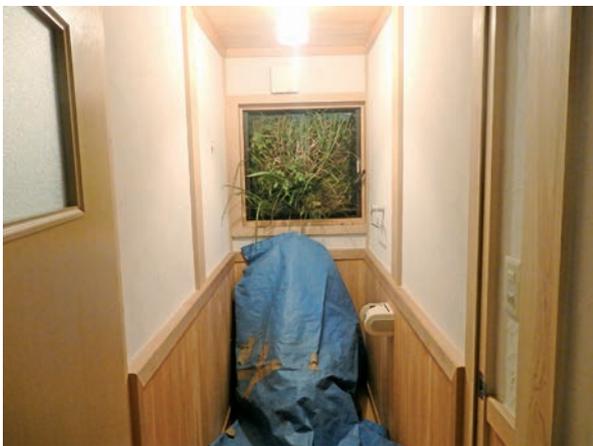
斜面崩落／大津東組 浄土寺



床下浸水／熊毛組 光照寺



床上浸水（高さ2m）／熊毛組 眞行寺



建物内土砂流入／熊毛組 善流寺



境内地土砂流入／熊毛組 正覚寺

### 山口教区 平成30年7月豪雨災害 被害状況

#### 寺院被害

美和組1件、玖珂西組4件、熊毛組6件、大津東組2件、豊浦西組1件

#### 被害内容

本堂・庫裏床上・床下浸水、門徒会館床上浸水、崖崩落等、参道土砂流入

#### 門信徒被害

岩国組1件、美和組1件、玖珂西組3件、柳井組3件、熊毛組4件、熊濃組3件、下松組1件

#### 被害内容

門徒死亡（1名）、家屋全壊・半壊、床上・床下浸水、建物土砂流入、敷地崩落

# 臨時教区会開催

去る7月11日(水)に、別院大会議室において、2018(平成30)年度臨時教区会(児玉正悟議長)が開催され、提出された財務議決議案・法規議案は、原案通り可決された。議案は次の通り。

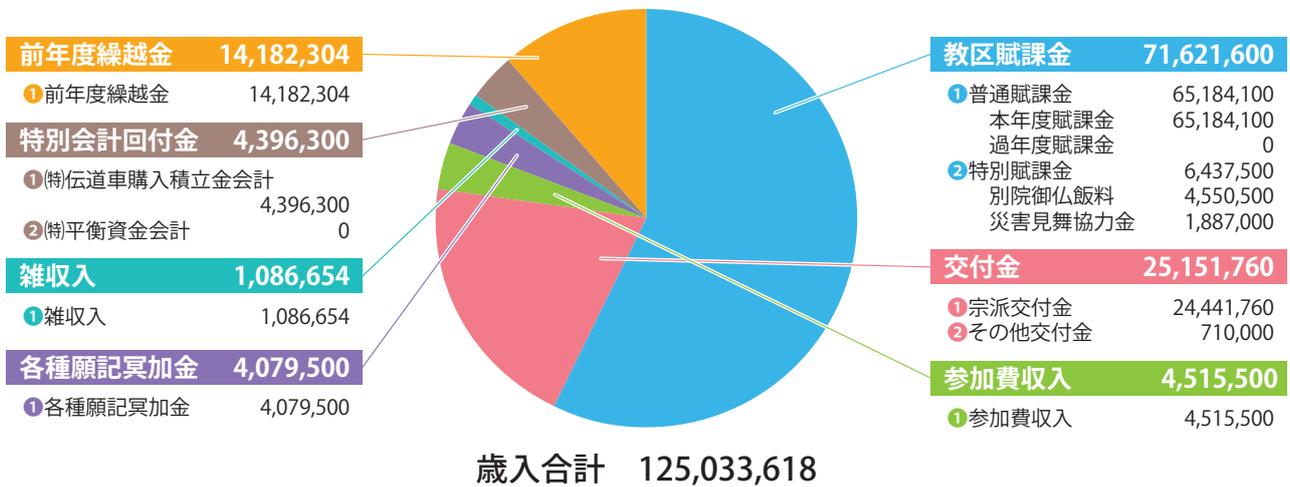
## 【財務承認議案】

2017(平成29)年度一般会計歳計決算・特別会計歳計決算(寺院災害見舞金会計・伝道車購入積立金会計・平衡資金会計・子ども・若者ご縁づくり推進費会計)

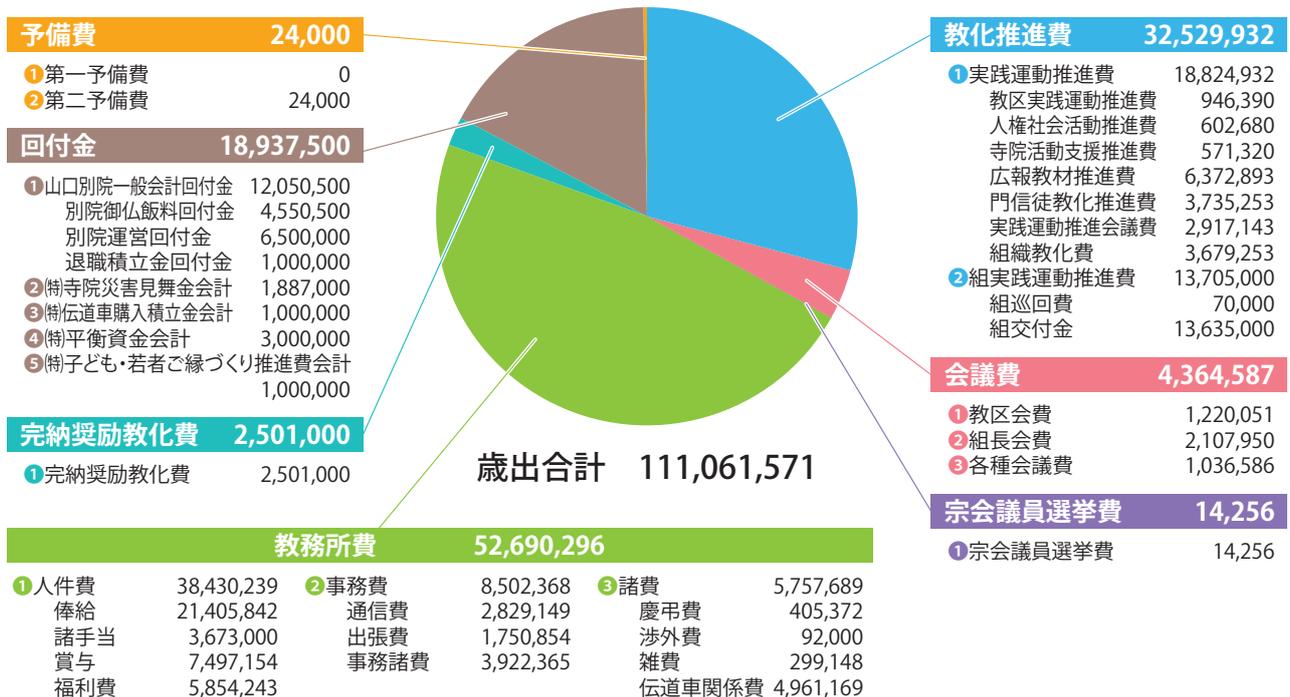
## 2017(平成29)年度 山口教区一般会計歳計決算並説明

自 2017(平成29)年4月1日 至 2018(平成30)年3月31日

### 歳入の部 (単位:円)



### 歳出の部 (単位:円)



# 2018(平成30)年度 山口教区 「御同朋の社会をめざす運動」 (実践運動)研修会

7月25日(水)開催

本年度の研修では、同和教育振興会 小武正教理事より、「部落差別をはじめとする人権問題への学びを深める—山口教区内差別はがき投書事件を通じて—」という講題でご講義をいただいた。

小武氏は1999年に発生した「備後教区差別葉書事件」の対応委員会委員として活動されており、その経験から「こういった差別事象が起きてしまった際に、私達念仏者がどう行動するかが一番問われる部分である」「差別は抵抗を呼び、抵抗は友を呼ぶ。抵抗は連帯を拡げていく、ということ

にならないければ同朋運動を掲げている私たちはいったい何をしたいのかという事になる」と提言された。今回残念ながら発生してしまつた事件。このことで揺らぐような教団ではないということを見せることが差別行為者の目論見を挫くことになり、被害に遭われた寺院のご住職の「今後このようなことがなくなっていくことを切望している」という思いを汲むことになるのではないか。小武氏は差別事象の解法として「行為を許すことなく、その連帯の輪を拡げていき、今後二度とその行為が発生

しないという状況を作り上げることが私達のできる最大のことであり」とご自身の見解を述べられた。

差別問題へ取り組んでいく中で課題として、「見えておらず見ようとしなかった差別の現実とは何か」ということがある。このことに目を向け、被害者の立場にたつて考えなければ、何が原因、何が背景として差別行為が発生したのかは掴むことができない。備後教区で発生した事件の際には、前述の「差別の現実」として「意識的序列構造」つまりは江戸時代より続く部落寺院の枠組み、本末関係など現在は表面化していないものが人々の深層意識の中にあるのではということが挙げられたこと。そのほか、「腐つたどぶが大量の蚊を発生させるように、差別で澱んだ社会は差別事件を発生させ、社会が腐っていくと殺伐とした事件・出来事を引き起こす」と、身元調査やヘイトスピーチな

ど現代社会で起きている差別事象について知る必要があると述べられた。

親鸞聖人は差別について無関心な人を「謗法のひとりなり、五逆のひとりなり」とおっしゃられた。小武氏は、差別を良しとせず、その声を拡げていくことがご信心をいただくこと、またみ教えにお育てをいただくことと伝えていくことが大切であるとおっしゃられ、本研修を締めくくられた。



同和教育振興会 小武正教理事

# 2018(平成30)年度 山口教区公聴会開催

9月14日(金)山口別院にて公聴会が開催された。宗派より山下義円(総務)をはじめ弘中貴之(副総務)、宇野哲哉(重点プロジェクト推進室部長)、工藤小枝(子ども・若者ご縁づくり推進室賛事)が出向され、教区内より、宗会議員、教区会議長、組長、副組長、実践運動教区委員会委員、住職、教化団体役員者など、97名出席があった。



公聴会の様子

開会式にて中村祐順教務所長、山下義円総務が挨拶をされた後、宇野哲哉部長より昨年度の公聴会の意見集約並びに宗門総合振興計画第1期終了および第2期始動についての報告がなされた。各重点項目ごとの第2期以降の事業計画の説明に加え、平成28年熊本地震や懇志進納状況にともなう教化助成費の影響により、当初の支出計画より変更となったこと報告があった。

その後、赤松泰城組長代表を座長とし、協議会に移った。初めに「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)重点プロジェクトの取り組み、次に宗門財政、最後に僧侶育成について宇野部長より一括して説明があった。

重点プロジェクトの取り組みでは「子どもたちの笑顔のために募金」について、仏教が大切にしてきた布施の精神に基づき、できることから、募金箱の作成やその使用方法、支援先候補や仏教婦人会連盟のダーナ募金との関わり合いについても説明がなされた。その後、教区内の具体的な取り組みについて、教区少年連盟藤岡真治委員長より子どもの貧困について本年度少年連

盟指導者研修会にて学んだ事柄について報告があった。



藤岡真治委員長

宗門財政では、現行の賦課金制度について、宗門財政基盤における賦課金の割合や、賦課金依頼額の内訳等について説明があった。

僧侶育成では、得度習礼や教師授与、布教使任命希望者の現状から、宗門校在生と一般希望者との心構えや学習量の格差等の問題を指摘した。こういった格差を抑えるため、希望者へ一定のカリキュラムを課すなど、10年、20年後の日本社会で求められる僧侶の育成体系を整える方針であ

ると説明があり、今後の資格取得体系変更について示唆された。

参加者からは護持口数や門徒戸数についてなど宗門財政に関わる質問や意見が多く挙げられ、宗派出向者より回答がなされた。最後に山下総務よりまとめの挨拶があり、公聴会が閉じられた。



ご質問・ご意見をいただいた方々

第20回

仏教讃歌のつどい  
(記念大会)

7月1日開催

毎年、山口仏教音楽連盟加盟15団持ち回りのお引き受けて開催している仏教讃歌のつどい。今年度は第20回の節目の大会という事で、各団代表者を実行委員会としての開催となった。

3年前の山口仏教音楽連盟総会にて「第20回仏教讃歌のつどい」はその記念とし、山口教区で新しい仏教讃歌を作成することになった。歌詞は教区内に公募し、3件の応募の中からチームライトコー

ル(宇部北組寶林寺)から寄せられた歌詞が選ばれた。タイトルは「つながるいのち」。作曲は、映画「かぐや姫の物語」の主題歌「いのちの記憶」を作詞・作曲・歌唱された二階堂和美さんに、楽譜・CDのデザインは山口南組信光寺

寺族松林如華さんに制作を依頼した。

大会当日は、加盟全15団体が出演し、練習してきた演奏を披露。

そして二階堂さんご出演のコンサートが催され、会場内は熱気に包まれた。最後は二階堂さんを含めた参加者全員での「つながるいのち」の大合唱で締めくくられた。

これまでの大会は1団体の引受けで、その地域でのつどいであったが、この節目にあたり全団員が力を合わせての開催となった。「結ぶ絆から、広がるご縁へ」を実感するとともに、この大会を機縁として今後より一層仏教讃歌が普及していくことを期待している。



黒瀬みどりさん



二階堂和美さん ガンジーさん



「つながるいのち」全体合唱の様子

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

9月18日(火)

本年度38回目となる千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要は1981年(昭和56)年から、大戦のきつかけとなった柳条湖事件の日(9月18日)に国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて全ての戦没者の方々に心から哀悼の意を表すべく厳修されています。この度は山口教区より67名の方が参拝されました。法要では過去の痛ましい歴史を振り返り、再び戦争への道を歩まないという平和への決意を明らかにするため、総長より「平和宣言」が行われました。

また、次代を担う青少年たちに平和について考えてもらうため、宗門関係学校より「いのちの尊さ」「非戦・平和の大切さ」をテーマとした作文を募集し、最優秀作文については、法要に先立って、本人による朗読がなされました。

法要と同時に全国の浄土真宗本願寺派寺院に於きましても「平和の鐘」の打撞にご協力をいただいております。

教区参拝団では、法要の後、築地本願寺 慈光院へ参拝いたしました。慈光院は1923(大正12)年9月、関東大震災が起こった際、救護所(現在のおそか病院)・託児所(現在の江東学園幼稚園)また、残された方の心のより所としての説教所として新築されました。また、1945(昭



「平和の鐘」打鐘の様子

和20)年3月9日、東京大空襲では慈光院にも焼夷弾が落とされましたが、地元の方たちの献身的な消火活動により消失をまぬがれたといわれます。

当日は慈光院の門徒である阿部五三郎氏より東京大空襲時の悲惨な体験を語っていただきました。戦後73年が経過し戦争を体験された世代は少なくなり戦争の悲惨さ、苦しさを聞くことが出来なくなり、次第に忘れられつつある今、貴重なお話を聞くことが出来ました。世界では今まだ紛争が絶えない国や地域があり、いのちが失われ傷ついています。こうした争いが一日も早く解決され、二度と同じ過ちを繰り返さないよう、非戦・平和への思いを新たにするとなりました。

教区ニュース 教区内の皆さまからのご投稿

第32回山口真宗教学大会

記念講演『漢文文献解読の工具 一字書・反切・韻書等』

龍谷大学名誉教授 勸学 相馬 一意 先生

日時	平成30年10月12日(金)		
会場	本願寺山口別院	参加費	2,000円
大会次第	開会式	午後1時	総会 午後1時15分
	研究発表	午後1時40分	記念撮影 午後2時40分
	記念講演	午後3時~午後4時30分	

研究発表

『愚禿鈔』の撰述時期について 深見 慧隆 (福岡教区 嘉麻組 専正寺)

親鸞聖人と『浄土五会念仏略法事儀讃』 ~儀礼本から教義本への変遷~

四夷 法顕 (兵庫教区 阪神西組 信行寺)

お念仏相続のことと存じます。会員の方はもちろん、ご住職、ご法中の方、また 真宗研鑽に心ある方はどなたでもご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

山口真宗教学会 会長 深川宣暢

会員募集

当、山口真宗教学会は昭和62年に発足し、地方での真宗教学の研鑽並びに振興を目的としています。毎年一回の大会には研究発表、記念講演を開催し、記念誌を発行しております。入会金1,000円 年会費3,000円。真宗研鑽に心ある方はどなたもご入会ください。新規会員を募集しております。

<http://yama-kyogaku.main.jp>

## 本願寺山口別院『報恩講』

**期日** 11月25日(日)『帰敬式』…午後1時  
11月26日(月)・27日(火)・28日(水)…午前10時・午後1時30分

**講師** 26日…舟川宏顕氏 (本願寺派布教使・北豊教区両徳寺)  
27日…寺西龍象氏 (本願寺派布教使・安芸教区真光寺)  
28日…瀧渕良孝氏 (本願寺派布教使・安芸教区正覚寺)

※本年度当初のご講師より変更になっていきますことを申し添えいたします

### 組別参拝日

〔26日〕

岩国組、玖珂西組、熊毛組、  
下松組、美祢西組、萩組、  
大津西組、邦西組、下関組

奉仕組 山口北組

〔27日〕

大島組、熊毛中組、熊南組、  
熊濃組、防府組、華松組、  
美祢東組、大津東組、  
小月組

奉仕組 白滝組

〔28日〕

美和組、柳井組、岩国北組、  
山口南組、宇部小野田組、  
厚狭西組、宇部北組、須佐組、  
豊浦組

奉仕組 阿武組

## 本願寺山口別院『元旦会』のご案内

**日時** 2019(平成31)年1月5日(土曜日)午前10時  
法要終了後、新年互礼会を催します

**場所** 本願寺山口別院

**講師** 本願寺山口別院 輪番

**申込** 新年互礼会準備の関係で、2019(平成31)年1月2日迄に山口別院に申し込み下さい。

## 本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

期間：2018.10.1～2019.1.31

期日	氏名	期日	氏名
10月 1日～10日	内山 晴香	12月 1日～10日	中山 教昭
11日～20日	金安 一樹	11日～20日	石丸 涼道
21日～31日	石田 敬信	21日～31日	佐々木世雄
11月 1日～10日	原田 英真	1月 1日～10日	輪 番
11日～20日	岡村 遵賢	11日～20日	和 隆道
21日～30日	波佐間正弘	21日～31日	寺田 弘信

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

別院・教区行事

Table of church events with columns for date, event name, speaker, and location. Includes dates from 10/1 to 11/5 and various activities like lectures and seminars.

敬 弔

- List of obituaries with names, titles, and dates. Includes names like 美祿西組 正隆寺 前坊守 and 波佐間美佐子 (87).

本願寺山口別院 仏前結婚式

新郎 森本 啓太さん
新婦 森本真由美さん
ご結婚おめでとうございます。

編集後記

「私たちは地球上で暮らさせていただいていますから」
阪神淡路大震災で大学のサークルの後輩が亡くなった。何年か経ち、ようやくお参り出来た時、後輩のお父様から出た言葉です。
最初耳を疑いました。子供さんを亡くされたのに、どうしてそんな簡単に片づけられるのかと。問うたらこんな言葉が返ってきた。
「靴がどろんこになりながら、スーツを着た人が、汗かき復興の為に動いていた。老若男女、皆、そうだった。
私は息子が亡くなったことでどん底に落ち、それから誰の言葉にも耳を傾けなくなかった。しかし、そんな姿をみるうちに、動いている人々の背中から悲しみが見れたんです。
背負っていたのは私だけではない。みんな何かしら悲しみを抱えていた。
そう味わえた瞬間、息子の死はとても大事なことに思えてきた。
この世に、この世界に『生きる』ということが、とても大事に思えてきた。
そうか！地球も生きています！我々は侵略者ではなく共存者であるはずで、地球も私たちの為に動いているのかもしれない。縁ですよね！
そう思えてきたから、最近はその話しています。最近北海道でも大きな地震があり、たくさん被害となった。
大阪では地震に加え、台風の影響も酷かった。そして、中国地方は広島を中心に豪雨の被害を受けた。山口もたくさん被害が出た。
被害にあわれた方々の痛みを感じ、復興を願うと共に、共存者としてどうすれば良いかを考える機縁にしたいと思います。」

本願寺山口別院・山口教区教務所
〒七五四一〇〇三三 山口県山口市小郡花園町三番七号
TEL〇八三(九七三)四一一一 FAX〇八三(九七三)四六三一一